

三重県の地震活動(平成30年2月)

平成30年3月6日
津地方气象台

【概況】

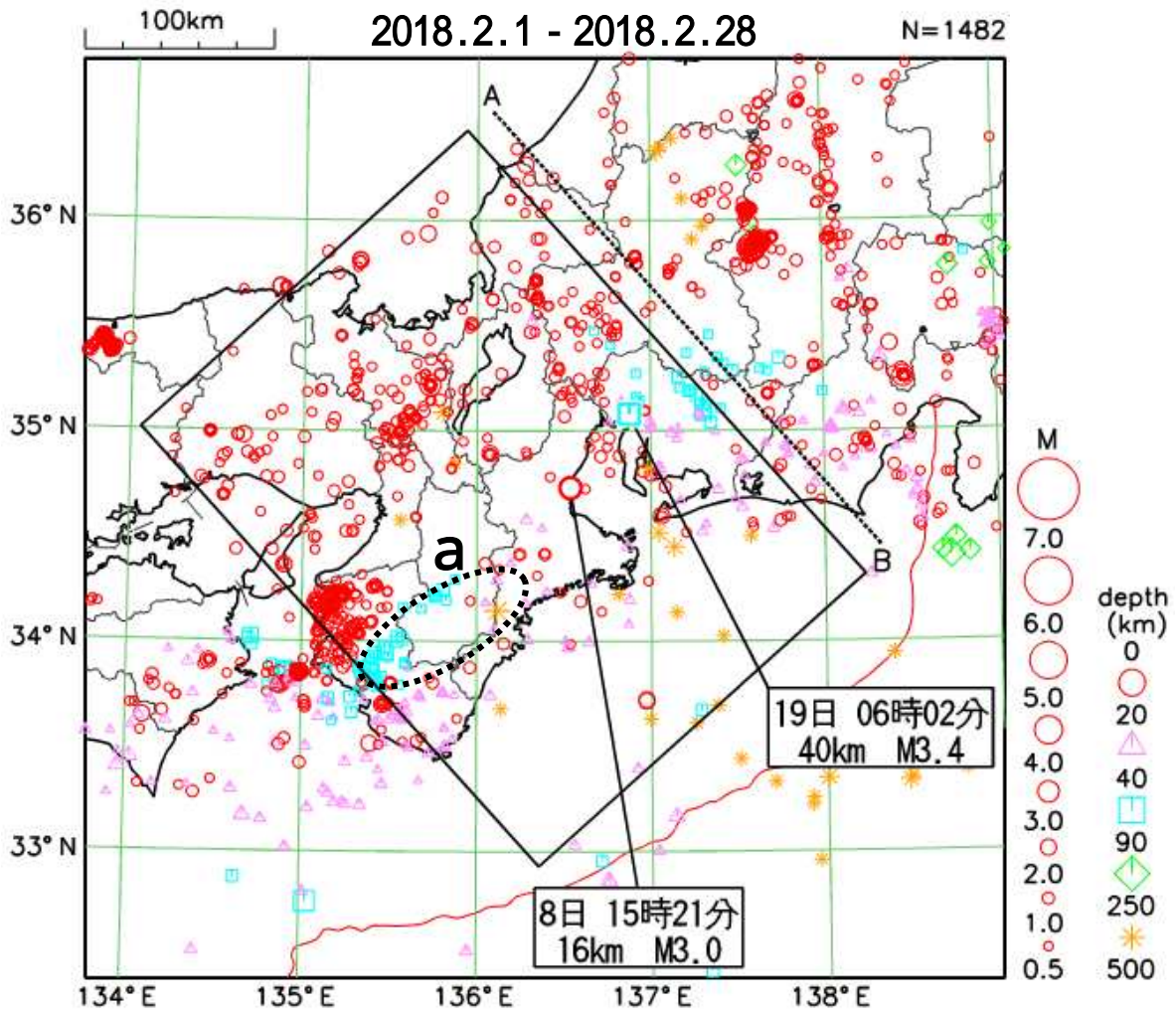
今期間、三重県内で震度1以上を観測した地震が2回ありました。

8日15時21分の伊勢湾を震源とする地震(M3.0、深さ16km、最大震度は三重県で震度1)により、三重県内では、鈴鹿市、亀山市、津市で震度1を観測しました。

19日06時02分の愛知県西部を震源とする地震(M3.4、深さ40km、最大震度は岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県で震度1)により、三重県内では、四日市市、鈴鹿市で震度1を観測しました。

なお、震央分布図中、aで示す領域(深さ約30~40km)で深部低周波地震を観測しました(詳しくは【深部低周波地震の観測状況】を参照)。

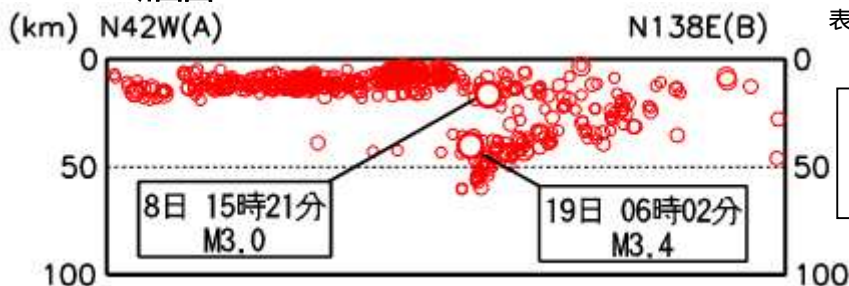
震央分布図



：深部低周波地震

(この図では震源が精度良く求められたもののみ表示しています)

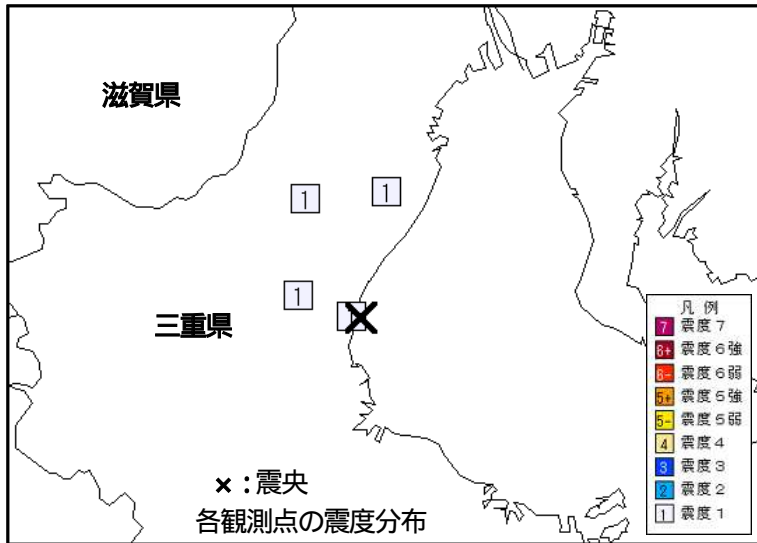
断面図



左の断面図は震央分布図の四角形内の震源を、A - Bに沿って置いた鉛直スクリーンに投影する形でプロットしたものです。

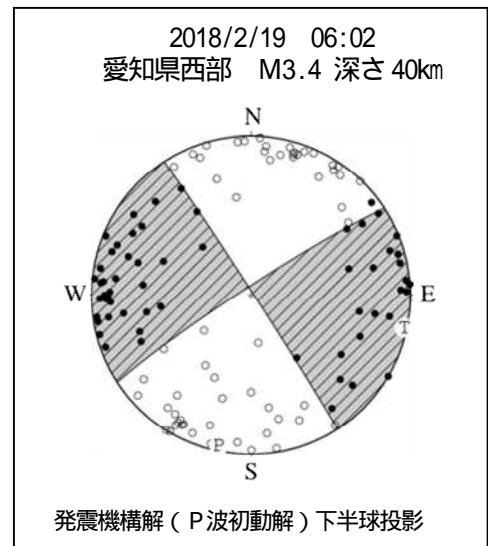
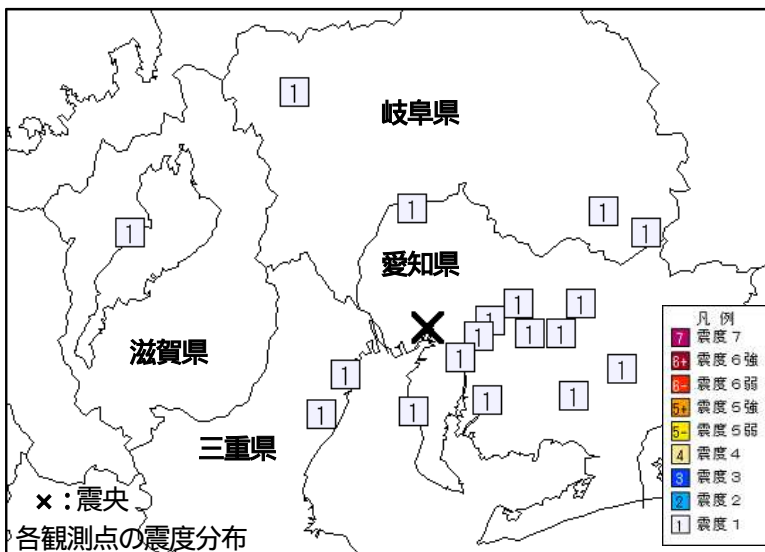
【県内で震度1以上を観測した地震】

伊勢湾の地震（8日15時21分 M3.0、深さ16km、全国の最大震度：1）
この地震により三重県内では、鈴鹿市、亀山市、津市で震度1を観測しました。



愛知県西部の地震（19日06時02分 M3.4、深さ40km、全国の最大震度：1）

この地震により三重県内では、四日市市、鈴鹿市で震度1を観測しました。この地震は、発震機構が西北西 - 東南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型でした。



【県内地震表（震度1以上）】

（注：*印のついている地点は地方公共団体または防災科学技術研究所の観測点です。）

番号	震源日時分	震央地名	緯度	経度	深さ	規模	全国の最大震度
		各地の震度					
	08日15時21分	伊勢湾	34° 43.7' N	136° 32.2' E	16km	M3.0	1
		震度 1：鈴鹿市西条, 亀山市椿世町*, 津市島崎町, 津市安濃町東観音寺*					
	19日06時02分	愛知県西部	35° 04.7' N	136° 52.6' E	40km	M3.4	1
		震度 1：四日市市新浜町*, 鈴鹿市西条					

【過去1年間に三重県内で震度1以上を観測した地震の月別回数表】

平成29年									平成30年		
3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
1	1	2	4	0	0	2	0	0	0	0	2

【深部低周波地震の観測状況】

図1中の領域aでは、11~15日に深部低周波地震を観測しました。

深部低周波地震はその地震波形の特徴から震源を精度良く求めることが難しく、震源が震央分布図には表示されない事があるため、実際はもっと数多く発生していると考えられます。

図1~図2では、震源の精度がやや劣る地震についても表示しています。

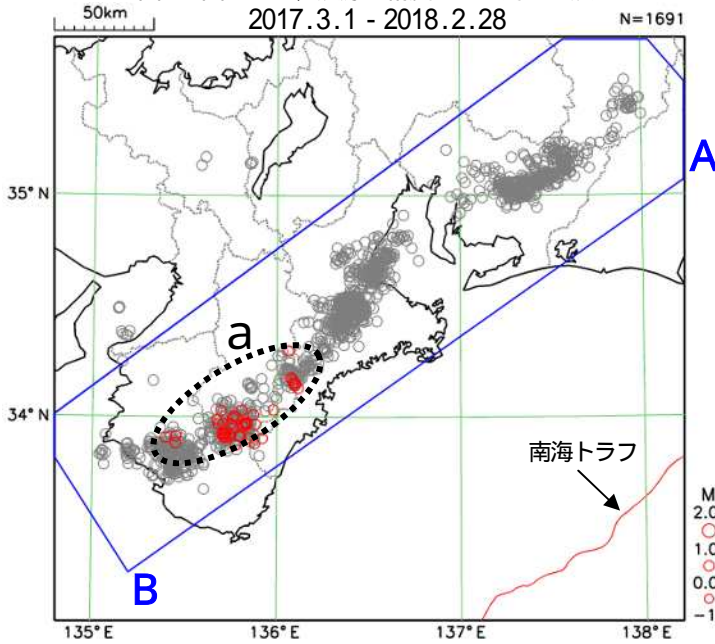


図1 過去1年間の深部低周波地震の震央分布図
(2017年3月1日~2018年2月28日、深さ0~60km)
2018年2月に発生した地震を赤色で表示しています。

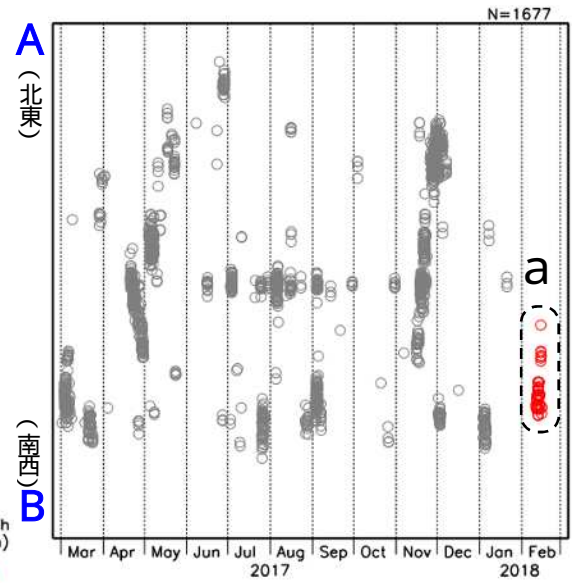


図2 過去1年間に発生した深部低周波地震の時空間分布図
縦軸：図1中のA Bを投影(概ね北東 南西方向)
横軸：期間(2017年3月1日~2018年2月28日)

【地震一口メモ】

《緊急地震速報について》

地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早くお知らせする「緊急地震速報」は、平成 19 年 10 月に一般提供が開始され運用開始以来 10 年が経過しました。これまで、全国で 192 回、三重県内には 4 回、「緊急地震速報」が発表されています（平成 30 年 2 月 28 日現在）。

「緊急地震速報」を見聞きしてから強い揺れが来るまでの時間はごくわずかで（ 1 ）その短い時間に適切な行動を取ると、列車やエレベータを制御したり身を守る行動をとることが期待できますが、適切な行動が取られないと、被害や混乱が生じる可能性もあります。

「緊急地震速報」が発表されたときに、限られた短い時間で適切な行動をとって身を守るためには、日頃の訓練や心得が重要です。

気象庁では、「緊急地震速報」の全国的な訓練を実施したり、訓練のための映像・教材を作成したり、「緊急地震速報」の利用の心得を記したリーフレットを作成していますのでご活用下さい（ 2 ~ 4 ）。



リーフレット「緊急地震速報～まわりの人に声をかけながら あわてず、まず身の安全を!!～」より

- 1 地震の強い揺れに、「緊急地震速報」が間に合わない場合もあります。
- 2 緊急地震速報を活用した訓練について
<http://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/kunren/kunren.html>
- 3 緊急地震速報訓練を実施するための映像・教材など
<http://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/kunren/kit.html>
- 4 リーフレット「緊急地震速報～まわりの人に声をかけながら あわてず、まず身の安全を!!～」
<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/eew/index.html>

- 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国家間地震学研究会（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- 2016年4月より、震源決定の処理方法を変更しました。そのため以前の震源分布図等と比較して見え方の異なる可能性があります。
- 資料は速報であり、後日の調査により変更されることがあります。
- 資料についての問い合わせ先 津地方気象台 電話：059-228-6818
- この地震概況は津地方気象台ホームページの三重県の気象・地震概況内に過去1年分掲載されています。アドレス：<https://www.jma-net.go.jp/tsu/gaikyo/651/gaikyo.html>